

(様式第1号)

受理番号

農業経営計画（変更）認定申請書（個人用）

令和 年 月 日

大阪府知事 様

鉛筆や消えるペンではなくボールペン等で記入してください！

〒559-8555

住 所 大阪市住之江区南港北1-14-16

氏 名 大

自署・押印は不要となりました

生年月日を忘れず記入してください

生年月日 大正 昭和 平成 42年 1月 1日

計画の内容についてお尋ねすることがありますので日中連絡の付く電話番号を記入してください

電話番号 090-0000-0000

大阪府都市農業の推進及び農空間の保全と活用に関する
による
認定を申請します。
(当てはまる方にチェック☑をしてください。)

第12条第1項(変更)

の規定

計画満了に伴う更新も「新規」となります

【個人情報の取り扱い】

(以下2点について確認し、チェック☑をしてください。)

- 市町村長及び農業委員会会長が収集した私の個人情報により、当該認定要件を満たしているかについて
確認することに

同意します。

チェック☑をしてください

- 当該計画が認定された場合は、計画実現のフォローアップ等のため、認定に係る情報を市町村、農地
中間管理機構、JA大阪中央会、営農地を所管するJA、大阪府担い手育成総合支援協議会（一般社団
法人大阪府農業会議）等へ提供することに

同意します。

チェック☑をしてください

農 業 経 営 計 画

1 農業経営計画及び農作業受託の現状及び目標

JAS有機の場合は（有機）、大阪エコの場合は（エコ）と必ず記載してください。

農業経営計画作成年次または直近の現状を記載。

現状の5年後を目標年次とする。

< 農業経営 >

現状(2022年)					目標(2027年)				
作物名	作型	施設形態	作付面積又は飼養頭数 (a、頭等)	出荷販売量 (kg、本等)	作物名	作型	施設形態	作付面積又は飼養頭数 (a、頭等)	出荷販売量 (kg、本等)
なす	半促成	パイプハウス	10a	9,000kg	なす (有機)	促成 普通	半鉄骨ハウス 露地	10a 30a	15,000kg 2,500kg
枝豆	普通	露地	20a	1,800kg	枝豆 (エコ)				
きゅうり	抑制	パイプハウス	20a	9,000kg	きゅうり 加工品	抑制 漬物	パイプハウス	10a 100g / 袋	4,500kg 500袋
秋菊大輪	半電照	半鉄骨ハウス	10a	35,000本	秋菊大輪	半電照	半鉄骨ハウス	10a	40,000本
ぶどう デラウェア	無加温二重	波状型ハウス	20a	3,400kg	ぶどう デラウェア	超早期加温	波状型ハウス	20a	2,800kg
肉牛		畜舎	40頭	30頭	肉牛		畜舎頭	50頭	40頭
水稲	普通	露地	20a	450kg					
計			100a 40頭		計			80a 50頭	

- 作物名
 - ・なす、きゅうり、ぶどうデラウェア、秋小菊、乳牛、水稲、加工品などを記載
 - ・大阪エコ農産物、有機農産物等については、作物名の下にカッコ書きで記載。
- 作型
 - ・促成、半促成、普通、抑制、加温半促成、加温抑制、無加温二重、春まき、夏まき、ハウス周年、露地などを記載。
 - ・加工品については、漬物、みそ、米粉パン、ポプリなど、加工の種類を記載。
- 施設形態
 - ・パイプハウス、半鉄骨ハウス、鉄骨ハウス、波状型ハウス、畜舎などを記載
- 作付面積、出荷販売量
 - ・単位は、a(アール)、kg(水稲・野菜・果樹等)、個、本(花き等)、頭、匹、g/袋などを記載。

< 農畜産物の出荷及び販売先 >

現状(2022年)		目標(2027年)	
主な出荷・販売先	府内の直売所	主な出荷・販売先	府内の直売所、JA、市
出荷・販売先が府内であることが分かるように記載。			

基幹的な作業（別紙）を参照に記載。

< 農作業受託 >

現状（2022年）			目標（2027年）		
作物名	基幹的な受託作業	面積（a）	作物名	基幹的な受託作業	面積（a）
ぶどうデラウェア	ジベレリン処理	10	ぶどうデラウェア	ジベレリン処理	10
	収穫	10		収穫	10
キャベツ	定植	5	キャベツ	定植	5
				収穫	5
延べ面積合計		25	延べ面積合計		30

延べ面積の合計を記載。

< 農業従事日数等 >（個人又は家族経営の場合に記載すること。）

現状（2022年）		目標（2027年）	
主たる従事者（経営者）	200日	主たる従事者（経営者）	250日
その他の従事者	300日	その他の従事者	350日

- その他の従事者
 - ・ 経営者以外の家族、農業従事者、雇用、アルバイト等の従事日数の合計
- 農業従事時間8時間をもって1日と換算する。
- その他の従事者（家族）が認定申請する場合は、その従事日数が分かるように記載。
記載例）その他の従事者 300日（うち申請者 200日）

2 目標達成のためにとるべき措置

【該当する項目をチェックし、その内容についてできるだけ具体的に（実施時期やその手法について）記載してください。】

●経営規模の拡大

農地の購入

原則として、1つ以上の項目についてチェック及び「実施時期」「具体的な手法・手段」の記入を必須とします。関係機関が支援するために必要な情報ですのでできる限り具体的に記入

実施時期

来年の春までに

具体的な手法・手段

農地中間管理機構事業を活用して施設なす用の農地10a拡大したい

●生産方式の合理化

- 施設・機械の更新・導入
 新規作物及び品種の導入
 栽培・肥育における新技術の導入
 6次産業化
 その他()

実施時期 今年の秋作から	具体的な手法・手段 取引先の要望もあり、みずなに代えて新たにパクチーを生産したい
-----------------	---

●経営管理の合理化

- 出荷販売方法の改善
 税務申告方式の変更
 法人化
 資金の調達方法の改善
 その他()

実施時期 3年ほど先	具体的な手法・手段 経営継承を見据えて法人化したい
---------------	------------------------------

●農業従事態様等の改善

- 休日制の導入
 給料制を導入
 雇用の活用
 その他()

実施時期	具体的な手法・手段 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 取り組む予定のない項目は記入する必要はありません。 </div>
------	---

●環境に配慮した農産物の生産促進

- 大阪エコ農産物の認証
 有機農業への取組
 その他()

実施時期	具体的な手法・手段
------	-----------

●GAP(農業生産工程管理)認証の取得等

- 国際水準GAPの取得
 JGAPの取得
 簡易GAP等の導入

実施時期	具体的な手法・手段
------	-----------